

2023年の道内建設業者倒産動向調査

建設業者の倒産件数が急増、件数は210.0%増

～ 負債1億円未満が7割を占め、資材高騰・人手不足による影響も～

資材価格の高騰や人手不足の顕在化、受注獲得競争の激化など建設業を取り巻く環境は厳しさが続いている。こうしたなかで2023年の道内の建設業者の倒産件数は前年比210.0%増の62件、負債総額は同332.3%増の68億7800万円と件数、負債総額ともに2年連続で増加を辿った。

1. 道内建設業者の倒産推移

公共工事の削減など建設市況が悪化した2010年～2012年当時には道内では年間100件を超える建設業者の倒産が発生していた。

2012年12月に発足した第2次安倍内閣以降は、異次元の金融緩和政策を背景に国土強靱化に向けて地域のインフラ整備や災害復旧工事など積極的な財政出動による景気対策が行われ、建設業界にとっても追い風となった。

そうしたなかで道内の建設業者の倒産件数は減少を辿り、コロナ禍前年の2019年には42件まで減少した。

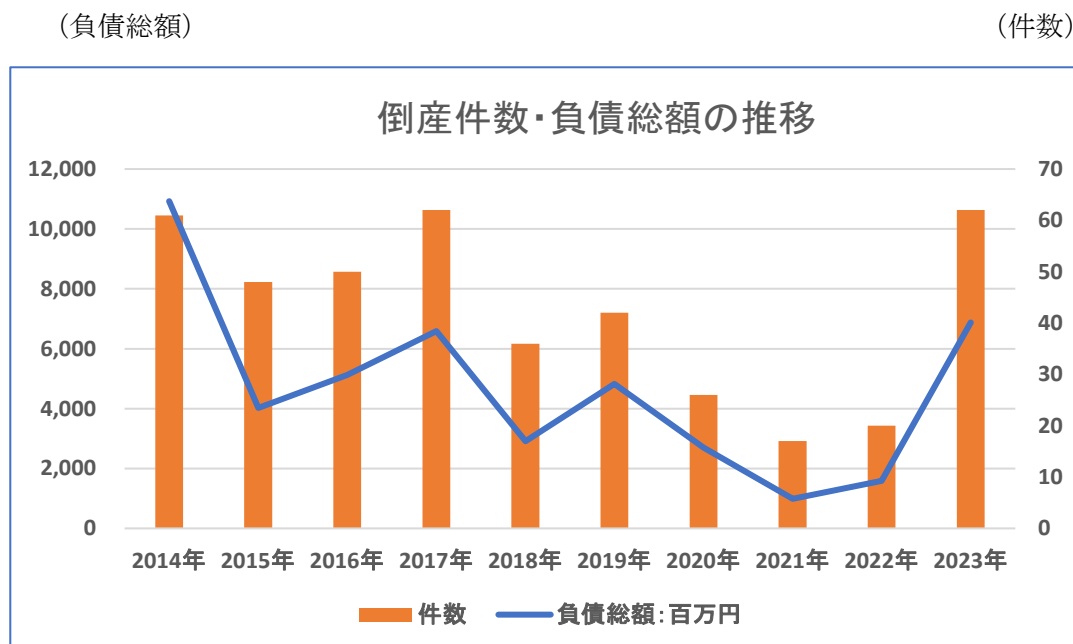
その後、新型コロナウイルス拡大により現場工事の

稼働が停滞するなどといった逆風に直面するなどしたが、コロナ禍対策としての実質無利子・無担保によるゼロゼロ融資や各種補助金などが手元の資金繰りの下支えともなり、年間の倒産件数

■北海道内の建設業者の倒産件数・負債総額推移

	件数	前年比 伸び率 (%)	負債総額 (百万円)	前年比 伸び率 (%)	全体の倒産 件数に占め る比率 (%)
2010年	118	6.3	18,771	▲37.7	35.9
2011年	112	▲5.1	18,045	▲3.9	33.0
2012年	119	6.3	19,643	8.9	29.8
2013年	77	▲35.3	516,810	2531.0	24.9
2014年	61	▲20.8	10,928	▲97.9	21.7
2015年	48	▲21.3	4,022	▲63.2	18.1
2016年	50	4.2	5,129	27.5	19.5
2017年	62	24.0	6,594	28.6	23.4
2018年	36	▲41.9	2,912	▲55.8	16.7
2019年	42	16.7	4,830	65.9	19.7
2020年	26	▲38.1	2,704	▲44.0	15.0
2021年	17	▲34.6	993	▲63.3	12.1
2022年	20	17.6	1,591	60.2	10.5
2023年	62	210.0	6,878	332.3	24.0

は2020年が26件、2021年が17件、2022年が20件とさらに減少、小康状態が続いた。



2. 2023年は倒産件数が一転して急増～前年比210.0%増

2023年の道内の建設業者の倒産件数は前年比210.0%増の62件、負債総額は同332.3%増の68億7800万円と大幅な増加を辿った。倒産件数、負債総額はともに2年連続しての増加となった。

月別の倒産件数を見ると、1月～12月の各月で発生、特に年度末の3月は2ケタとなる10件の発生となった。

道内の企業におい

ては円安の進行による原材料価格、輸入価格高騰の影響が顕著となり、企業収益を圧迫、加えて

建設業

月	2022		2023		前年同期比 (%)	
	件数	負債	件数	負債	件数	負債
1	0	0	4	537	—	—
2	0	0	2	770	—	—
3	3	185	10	355	233.3	91.9
4	1	556	7	1281	600.0	130.4
5	3	75	4	735	33.3	880.0
6	0	0	1	27	—	—
7	1	47	6	439	500.0	834.0
8	1	487	8	585	700.0	20.1
9	4	68	2	99	▲50.0	45.6
10	2	83	7	1264	250.0	1422.9
11	2	48	2	44	0.0	▲8.3
12	3	42	9	742	200.0	1666.7
合計	20	1591	62	6,878	210.0	332.3

人手不足が顕著となるなかで、人件費の高騰や受注機会の喪失といった事態にも直面した。

また、ゼロゼロ融資の返済が本格化するなかで、金融機関に対する返済の見通しが立たず行き詰まりを余儀なくされるケースも発生した。

建設業界においても例外ではなく「社員の退職から入札要件を満たすことができず廃業を余儀なくされた」「受注競争が激化するなかで資材価格の高騰を受注単価に転嫁させることができず資金繰りが悪化した」といった切実な事態が聞かれた。また、積極的な受注展開により業容拡大を図ったものの、運転資金が追いつかず資金ショートするという「資金繰り倒産」も散見された。

このほか、戸建関連産業においては、住宅着工戸数の減少の影響が発生した。

3. 負債額別～1億円未満が全体の7割を占める

負債額別の内訳を見ると「5000万円未満」が26件(構成比41.9%)で最も多く、「5000万円～1億円未満」が18件(同29.0%)でこれに続き、負債1億円未満が全体の71.0%を占めた。

また「1億円～5億円未満」が前年の1件→15件(同24.2%、前年比1400.0%増)へ急増した。

倒産件数は急増したものの、負債10億円を超える大型倒産は発生しなかった。

最も負債額が大きかったのが、新和建設(株)(札幌市、4月破産、建築・大工工事、負債8億5200万円)で、このほか(株)平岸管財(札幌市、10月特別清算、元・解体工事、

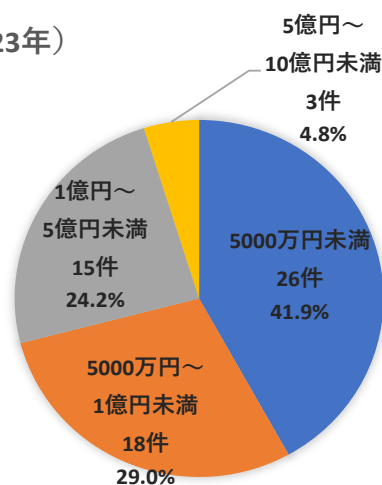
同5億3000万円)、(株)リーベンホーム(札幌市、2月破産、戸建住宅工事、同5億2000万円)を含めて「5億円～10億円未満」で3件(構成比4.8%)の倒産が発生した。

■負債額別

負債額	2022年		2023年		伸び率 (%)	
	件数	負債総額	件数	負債総額	件数	負債総額
5000万円未満	15	363	26	637	73.3	75.5
5000万円～1億円未満	3	185	18	1,243	500.0	571.9
1億円～5億円未満	1	487	15	3,096	1400.0	535.7
5億円～10億円未満	1	556	3	1,902	200.0	242.1
10億円～50億円未満					-	-
50億円～100億円未満					-	-
100億円以上					-	-
合計	20	1,591	62	6,878	210.0	332.3

負債総額単位：百万円

負債額別件数 (2023年)



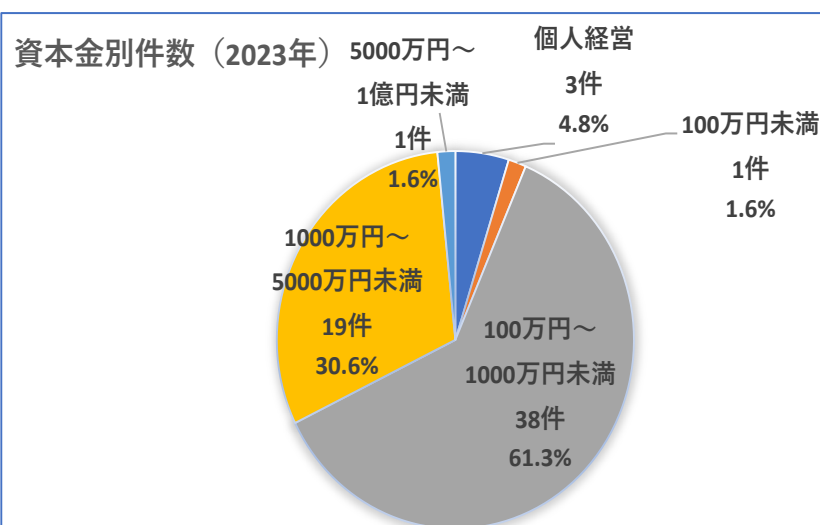
4. 資本金別～「100万円～1000万円未満」が38件、61.3%で最多

■資本金別

資本金	2022年		2023年		伸び率 (%)	
	件数	負債総額	件数	負債総額	件数	負債総額
個人経営	2	33	3	98	50.0	197.0
100万円未満	3	76	1	50	▲ 66.7	▲ 34.2
100万円～1000万円未満	10	305	38	3,286	280.0	977.4
1000万円～5000万円未満	5	1,177	19	2,914	280.0	147.6
5000万円以上1億円未満			1	530	-	-
1億円以上					-	-
合計	20	1,591	62	6,878	210.0	332.3

負債総額単位：百万円

資本金別では、「100万円～1000万円未満」が38件（構成比61.3%）で最も多く、「1000万円～5000万円未満」が19件（同30.6%）でこれに続いた。「個人経営」が3件（同4.8%）、「100万円未満」と「5000万円～1億円未満」が各1件（同各1.6%）だった。



5. 主因別～「販売不振」が 61.3%を占め最多

■主因別

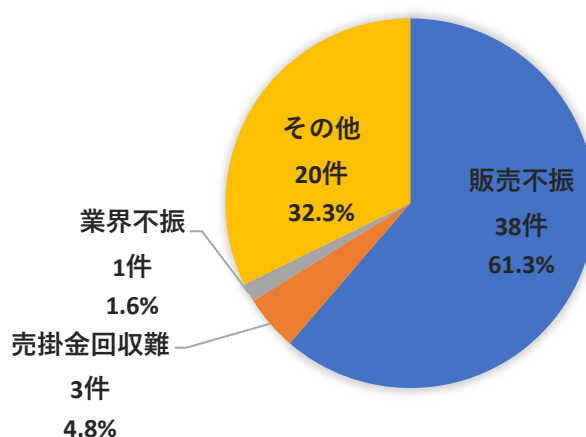
主因別では、「販売不振」が 38 件（構成比 61.3%）で最も多く、「売掛金回収難」の 3 件（同 4.8%）、「業界不振」の 1 件（同 1.6%）を合計した「不況型倒産」は 42 件（同 67.7%）となった。

また経営者の死亡などを含む「その他」は 20 件（同 32.3%）だった。

主因	2022年		2023年		伸び率 (%)	
	件数	負債総額	件数	負債総額	件数	負債総額
販売不振	15	1,444	38	2,454	153.3	69.9
輸出不振					-	-
売掛金回収難			3	1,302	-	-
不良債権の累積					-	-
業界不振			1	68	-	-
不況型合計	15	1,444	42	3,824	180.0	164.8
放漫経営					-	-
設備投資の失敗					-	-
その他の経営計画の失敗					-	-
その他	5	147	20	3,054	300.0	1977.6
合計	20	1,591	62	6,878	210.0	332.3

負債総額単位：百万円

主因別件数（2023年）



6. 地域別～「石狩」が 29 件、46.8%で最多

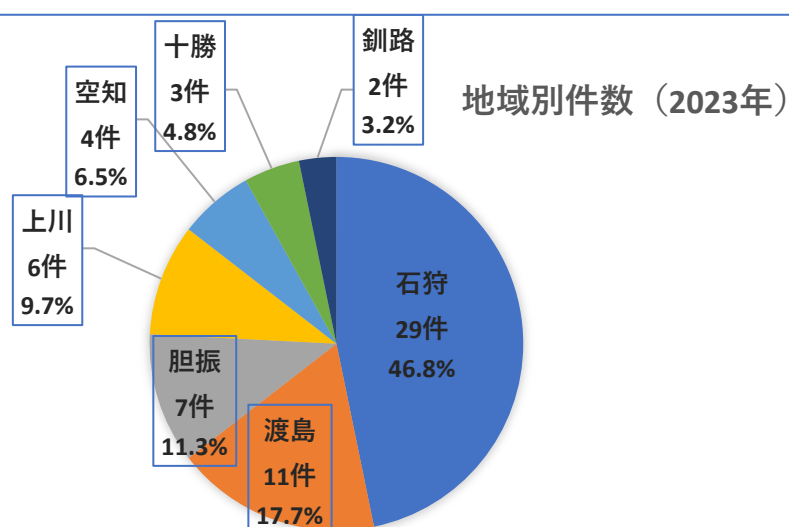
■ 地域別

地域	2022年		2023年		伸び率 (%)	
	件数	負債総額	件数	負債総額	件数	負債総額
石狩	12	850	29	4,740	141.7	457.6
空知			4	161	-	-
後志					-	-
渡島	1	556	11	386	1000.0	▲ 30.6
檜山					-	-
胆振			7	647	-	-
日高					-	-
上川	2	80	6	615	200.0	668.8
留萌					-	-
宗谷					-	-
オホーツク					-	-
釧路	2	33	2	76	0.0	130.3
根室					-	-
十勝	3	72	3	253	0.0	251.4
合計	20	1,591	62	6,878	210.0	332.3

負債総額単位：百万円

地域別では「石狩」が 29 件（構成比 46.8%）で最多で「渡島」が 11 件（同 17.7%）、「胆振」が 7 件（同 11.3%）でこれに続いた。

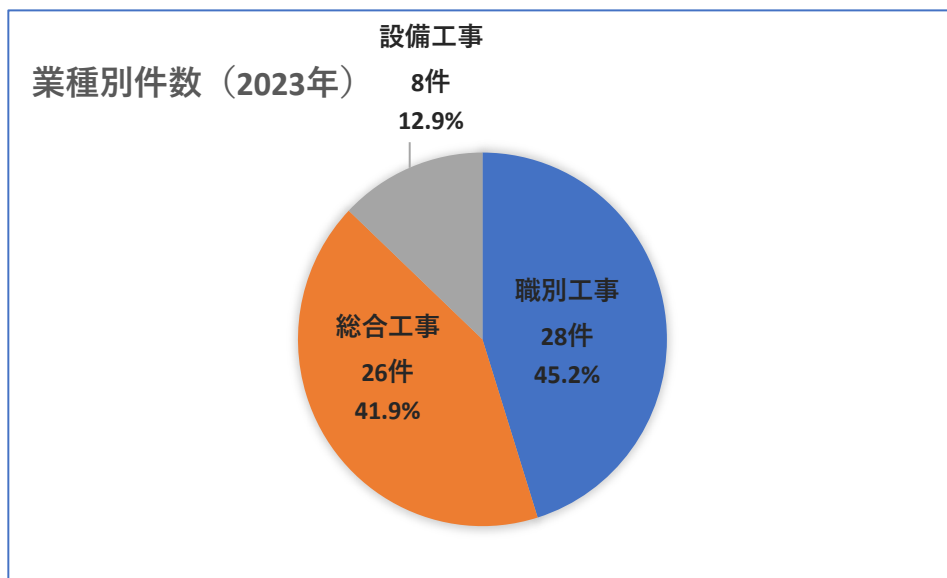
以下、上川 6 件（同 9.7%）、「空知」4 件（同 6.5%）、「十勝」3 件（同 4.8%）、「釧路」2 件（同 3.2%）だった。



7. 業種別～職別工事が 28 件、45.2%を占める

2023年に倒産した建設業者 62 件の業種別内訳を見ると、職別工事が 28 件（構成比 45.2%）で最も多く、総合工事が 26 件（同 41.9%）でこれに次いだ。

設備工事は 8 件（同 12.9%）だった。



株式会社帝国データバンク札幌支店

【問い合わせ先】 情報部 柳澤・吉原・松田

TEL：011-272-3933（直通）

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。